

1次ラウンド

Aブロック (Aコート) 帯広Jr, 足寄, 鈴蘭

Gブロック (Aコート) 豊成, 明星H, 上士幌

Bブロック (Aコート) 音更Un, 芽室, 光南

Hブロック (Aコート) 幕別札内, 緑陽台, 札南

Cブロック (Aコート) 士幌, 西帯広, 若葉

Iブロック (Aコート) 川西, SSJr, 池田

Dブロック (Bコート) 開西つつじが丘, 大空, 広尾

Jブロック (Bコート) 清水, 大樹, 緑ヶ丘

Eブロック (Bコート) フォレット, しんとく, 帯広FC

Kブロック (Bコート) 中札内, 音更Jr, 稲田

Fブロック (Bコート) 帯広中央, 本別, 御影

1次ラウンド試合進行表

※ 試合時間は前後することがありますのでご注意ください。

試合時間 12分-3分-12分

競技規則
本年度日本サッカー協会 8人制サッカー競技規則による。
競技方法
①1次ラウンドは勝ち点(勝3分け1負け0)得失点差、総得点、当該チームの戦績、抽選の順で順位を決定し、各ブロック1位のチーム及びA~Kブロック2位のチームの内成績上位の10チームが決勝トーナメントに進む。その他のチームは順位別リーグを行う。
②登録できる交代要員の数は8名(例外規定あり)とし交代して退いた選手は再び交代要員として出場できる。交代の回数は制限されない。
ゴールキーパーは事前に主審に通知した上で試合の停止中に交代することができる。
③ベンチ入りできる人数は役員原則2名以上3名以下名交代要員8名(例外規定あり)以内とする。
④ベンチはブロック若番が左に位置すること。
⑤テクニカルエリアは設けないためベンチがテクニカルエリアとなる。過剰に出過ぎない事。
⑥その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。
⑦監督またはベンチ役員が判定に対して異議を示し、主審から注意を受けた後に、再度異議を示した時は、主審の判断により退席処分とする。
懲罰
①本大会において退場させられた者は次の1試合に出場できずそれ以降の処置については本大会の規律フェアプレー委員会で決定する。
②本大会期間中警告を2度受けた者は次の1試合に出場できない。
③競技者が退場を命ぜられた場合はその競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充できる。主審は競技者が補充されようとしている間は試合を停止する。
④本大会の予選は懲罰規定上の同一の競技会とみなし、予選終了時で退場、退席による未消化の出場停止処分は本大会において消化する。
⑤本大会規定、本記事事項にない事例に関しては、本大会規律フェアプレー委員会において決定する。
審判
①各チームは3級以上の公認審判員1名と4級以上の公認審判員1名を帯同すること。3級以上の公認審判員を帯同できない場合は4級1名を帯同し、不帯同審判員を大会本部へ納入すること。
②指導者と審判員を兼ねる場合は審判業務を優先しなければならない。
その他
①各チームの登録選手は、日本協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により顔の認識ができるものであること。
②大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止する。
③大会参加にあつたては指導者、後援会を問わずプレイヤーズファーストの理念の基に「大会参加にあつたての注意事項」を遵守しなければならない。
④観客席は選手席のコーートを挟んだ向かい側に限定する。
⑤父母席(観客席)からのサイドコーチングを禁止する。